



## 福島復興支援活動に参加して来ました。

3月25日～27日、JA広島農業青年連盟主催の、福島復興支援活動に参加して来ました。震災以来、気にはなりつつ何もできていなかったのが、少しでも役に立てる良い機会だと思い、参加を決めました。活動としては、避難指示解除準備区域(2年後の帰還目標)である南相馬市小高地区の、ある民家周辺の竹林を伐採して取り除く除染作業を行いました。竹林(写真①)には事故後に降り注いだ放射線が付着し、その民家では1.8マイクロシーベルト/時間くらい放射線量がありますが、この作業によって0.5以下にできて人が暮らせるようになるのではないかと、というボランティア活動センターの見立てでした。13名(写真②)が丸1日かけて依頼された1軒の民家周辺の竹林の除去作業をなんとか終える事が出来ました。しかし、同じような場所が何千軒とあるわけですから、人が住めるような状態にするまでには、まだまだ気の遠くなるような時間と労力がかかることが想像できました。その海岸地域をバスで視察しましたが、津波で被害を受けた田んぼが、放射線でも被害を受けて、とんでもなく広い面積の田が放置されたままになっていました(写真③:中央には車が放置)。また、原発から50km離れた飯館村は、20kmの南相馬市より遠いにも関わらず、放射線量が高く、準備区域よりランクが上の居住制限区域となっています。店、民家も空家ばかりです。除染によりはぎ取られた表土をパック詰めした袋が、何百メートルにも渡って野積みされているのが印象的でした(写真④)。福島の新聞の一面はいつも原発関連。紙面の半ページを県内各地の放射線量や風向き情報が占め、県内は否が応でも原発を中心に生活が回っている様子です。放射能被害の少ない会津地域も農作物の風評被害で苦しんでいます。福島の農家の方は、「福島の現状を1人でも多くの人に知ってほしい」と訴えておられました。今回、福島の復興は始まったばかり、と実感しました。皆さまも何らかの形で福島の支援に関わっていただけたら幸いです。



① 伐採する前の竹林 ② 今回の活動に参加した農家仲間 ③ 南相馬市の海岸地域 ④ 飯館村の野積み除染土

### アヤゴンのひとりごと

次女の萌々子が卒園しました～(\*\_\*)広島市内では、保育園に空きがなく、3才を過ぎて私立幼稚園に入るまでは家で過ごしたお兄ちゃんとお姉ちゃん。それに比べて、三次に引っ越してきてすぐに、1才半から保育所に通い始めた彼女。やっぱり社会性や下の子の面倒の見方など、自然に身につけてきたように感じます。生まれ持った性格もあると思うんだけど、なんか頼れるんだよねえ…あつ、上の2人が頼りない、ってわけじゃあ…(笑) 証書もらった後の一言「大事に育ててくれて、ありがとう」には、泣かされました…♡

### おすすめレシピ



#### ほうれんそうのスプレッド (イギリス風)

ほうれんそう(ゆでて水を切りみじん切りしたもの) 200g、白ねぎ 200g、A(クリームチーズ 150g、塩、こしょう少々、レモン汁大さじ1)

- ① 鍋にバターを溶かし、白ねぎ(わけぎ、葉玉ねぎも可)を弱火で炒める。ほうれんそうを(もしあればミントも)加えてまぜ、火からおろして荒熱を取る。
- ② 冷めたら A を加えてミキサーにかけてピューレ状にする。それを容器に入れ、冷蔵庫で1時間冷やすと完成。トーストしたパンに塗って食べて下さい。

今月の野菜

白ねぎ、島らっきょう、わけぎ、菜花、春大根、人  
参、ほうれんそう、ベビーリーフ、こまつな、こ  
かぶ、こぶ高菜、キャベツ、葉玉ねぎ、葉にんに  
く、にら

来月予定の野菜

こかぶ、春大根、ほうれんそう、ベビーリーフ、  
こまつな、レタス、キャベツ、にら、葉玉ねぎ、葉  
にんにく